

環境計画評価のための時系列国土情報の利活用

Utilization of time-series geographic information for environmental planning

小荒井 衛 [1]

Mamoru Koarai[1]

[1] 国土地理院

[1] GSI

高度経済成長期以降、国土庁の国土数値情報や環境庁の自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）など様々な国レベルでの主題図情報整備が進められてきており、全国総合開発計画の他、地域開発計画や環境アセスメント等でも活用されている。1970年代以降は、主題情報も含めて国土変遷の情報がアーカイブされてきていると良い。一方、それ以前のデータについては、国土地理院（陸地測量部時代も含める）の5万分1地形図の情報等しか無く、主題図的な情報は整備されてきていない。

現在国土地理院では、国土変遷アーカイブ事業として旧版地形図や過去の空中写真のデジタル化作業を進めてきている。本発表では、このような時系列国土情報の利活用方策について、国土計画の立場から検討した結果を報告する。

ここでは時系列国土情報をベースに、過去の主題図的な情報をGISデータとして整備して、「昔の国土数値情報」を試作する事を考えている。特に、明治初期と終戦直後期の2時期に着目し、前者では「2万分1迅速測図」、後者では米軍空中写真を活用して、土地利用のみならず、植生情報など時間的に遷移する自然環境情報についても復元を試みたい。そしてこれらを元にした地域環境計画立案の可能性について紹介する。

また、「昔の国土数値情報」から、当時の為政者が国土数値情報があったらどのような地域計画を策定したかという視点で、GIS技術を使って計画を策定し、策定された地域計画と実際の開発状況との違いを地域計画論の立場から考察し、本来あるべき地域の姿を再現し、環境保全・地域開発計画のあり方に提言を与えることも可能である。